

議案第70号

令和5年度

池田市公共下水道事業会計決算説明書

1. 公共下水道事業決算報告書（決算書P. 1～4）

（1）収益的収入及び支出（P. 1～2）

〔収入〕

下水道事業収益の予算額は、2,812,769,000円を計上しました。

下水道事業収益の決算額は、2,761,953,882円で、予算額に対し50,815,118円の減収となりました。

決算額の内訳は、次のとおりです。

営業収益	1,718,343,148円
（うち、仮受消費税	92,357,533円）
営業外収益	1,027,895,644円
（うち、仮受消費税	2,906,119円）
特別利益	15,715,090円
（うち、仮受消費税	1,428,632円）

〔支出〕

下水道事業費用の予算額は、2,913,679,000円を計上しました。

下水道事業費用の決算額は、2,755,200,647円で、予算額のうち158,478,353円が不用額となりました。

決算額の内訳は、次のとおりです。

営業費用	2,634,348,374円
（うち、仮払消費税	82,762,363円）
営業外費用	120,308,129円
特別損失	544,144円

（2）資本的収入及び支出（P. 3～4）

〔収入〕

資本的収入の予算額は、2,127,125,000円を計上しました。

資本的収入の決算額は、1,532,850,192円で、予算額に対し594,274,808円の減収となりました。

決算額の内訳は、次のとおりです。

企業債	860,900,000 円
補助金	655,944,000 円
他会計出資金	15,008,505 円
他会計補助金	816,000 円
受益者負担金	121,869 円
分担金	59,818 円

[支 出]

資本的支出の予算額は、2,904,005,000 円を計上しました。

資本的支出の決算額は、2,290,594,194 円で、地方公営企業法第 26 条の規定による繰越額が 293,130,000 円で、予算額のうち 320,280,806 円が不用額となりました。

決算額の内訳は、次のとおりです。

建設改良費	1,578,063,455 円
（うち、仮払消費税	136,275,248 円）
企業債償還金	712,530,739 円

なお、消費税及び地方消費税は、仮受消費税 96,692,284 円（収益的収入）から、控除対象消費税等相当額 134,981,091 円（収益的支出仮払消費税 82,762,363 円及び資本的支出仮払消費税 136,275,248 円を加えた合計額から、控除対象外消費税相当額等 84,056,520 円を差し引いた額）及び貸し倒れ等に係る調整額 42,768 円を差し引いた 38,331,575 円の還付となりました。

2. 公共下水道事業損益計算書（決算書 P. 5～6）

当年度の公共下水道事業の経営実績は、次のとおりです。

1. 営業収益 1,625,985,615 円に対し
2. 営業費用 2,551,586,011 円で、差し引き営業損失は 925,600,396 円となりました。
3. これに営業外収益 986,700,718 円を加えた額から
4. 営業外費用 144,849,162 円を差し引いた額 83,748,840 円が、経常損失です。
5. これに特別利益 14,286,458 円を加えた額から
6. 特別損失 544,144 円を差し引いた額 70,006,526 円が当年度純損失です。前年度繰越はなく、70,006,526 円が当年度未処理欠損金です。

3. 公共下水道事業剰余金計算書（決算書P. 7～8）

[資本金]

前年度末残高 5,504,612,296 円に、他会計出資金の受入 15,008,505 円を加えた額 5,519,620,801 円が当年度末残高です。

[資本剰余金]

<受贈財産評価額>

前年度末残高 1,444,555,980 円から欠損補填による処分額 88,266,632 円を差し引き、受贈財産の取得 17 円を加えた額 1,356,289,365 円が当年度末残高です。

<国庫補助金>

前年度末残高 267,697,946 円から変動はありません。

<府補助金>

前年度末残高 369,200 円から変動はありません。

<その他資本剰余金>

前年度末残高 138,191,087 円から変動はありません。

[欠損金]

<未処理欠損金>

前年度未処理欠損金 88,266,632 円について、資本剰余金処分額として 88,266,632 円の欠損補填を行い、繰越欠損金は 0 円で、当年度純損失 70,006,526 円を加えた額 70,006,526 円が、当年度未処理欠損金です。

4. 公共下水道事業欠損金処理計算書（決算書P. 9）

当年度未処理欠損金 70,006,526 円について、資本剰余金処分額として 11,863,209 円の欠損補填を行い、残額 58,143,317 円は翌年度繰越欠損金とするものです。

5. 公共下水道事業貸借対照表（決算書P. 10～11）

令和6年3月31日現在の公共下水道事業の資産、負債及び資本は、次のとおりです。

[資産の部]

1. 固定資産は、

(1) 有形固定資産合計 31,614,763,242 円

(2) 無形固定資産合計 1,279,444,149 円で

固定資産合計は、32,894,207,391 円（明細はP. 35～36に記載）です。

2. 流動資産は、

(1) 現金預金 2,763,068,080 円

(2) 未収金 340,946,136 円から貸倒引当金 2,937,661 円を差し引いた額 338,008,475 円で

流動資産合計は、3,101,076,555 円です。

以上の固定資産と流動資産の合計 35,995,283,946 円が、資産合計です。

[負債の部]

3. 固定負債は、

(1) 企業債 10,690,353,839 円

企業債の内訳は、

イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債 10,690,353,839 円（明細はP. 37～46に記載）

(2) 引当金 143,152,481 円

引当金の内訳は、

イ 退職給付引当金 143,152,481 円で

固定負債合計は、10,833,506,320 円です。

4. 流動負債は、

(1) 企業債 733,913,809 円

企業債の内訳は、

イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債 733,913,809 円（明細はP. 37～46に記載）

(2) 預り金 22,278 円

(3) 未払金 1,061,506,196 円

(4) 引当金 19,993,404 円

引当金の内訳は、

イ 賞与等引当金 19,993,404 円で

流動負債合計は、1,815,435,687 円です。

5. 繰延収益は、

(1) 長期前受金 32,537,413,612 円から収益化累計額 16,403,233,546 円を差し引いた 16,134,180,066 円が繰延収益合計です。

以上の固定負債と流動負債及び繰延収益の合計 28,783,122,073 円が、負債合計です。

[資本の部]

6. 資本金は、5,519,620,801 円です。

7. 剰余金のうち

(1) 資本剰余金は、

イ 受贈財産評価額 1,356,289,365 円

ロ 国庫補助金 267,697,946 円

ハ 府補助金 369,200 円

ニ その他資本剰余金 138,191,087 円で

資本剰余金合計は、1,762,547,598 円です。

(2) 欠損金は、

イ 当年度未処理欠損金 70,006,526 円で、欠損金合計は 70,006,526 円です。

剰余金合計の 1,692,541,072 円は、資本剰余金合計 1,762,547,598 円から欠損金合計 70,006,526 円を差し引いた額です。

資本合計 7,212,161,873 円は、資本金合計 5,519,620,801 円と剰余金合計 1,692,541,072 円との合計です。

負債資本合計の 35,995,283,946 円は、負債合計 28,783,122,073 円と資本合計 7,212,161,873 円との合計です。